

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

学校給食による卵アレルギー事故について

10月8日（水）に提供した学校給食において、給食を食べた卵アレルギーのある複数の児童が、アレルギー様症状を訴える事故が発生しました。なお、発症した児童については、本日までに全員回復しています。

1 経過

<10月8日（水）>

- ・港北区内のA小学校で、給食を食べた卵アレルギーのある児童（1名）が、給食後、のどの痛みや腹痛を訴えて保健室で休みを取る。
- ・学校から、教育委員会及び食材を発注している(財)横浜市学校給食会に対して、アレルギー物質混入の可能性について、確認の連絡が入る。

<10月9日（木）>

- ・緑区内のB小学校（1名）及び青葉区内のC小学校（2名）より、昨日の給食で卵アレルギーのある児童に同様の症状があった旨の連絡が入る。
- ・これら3校が共通の食材（ちくわ）を使用していることから、市保健所に状況を報告するとともに、市保健所の指示で、同じ食材を使用した学校（89校）に対して調査を実施。
- ・その後、市保健所と連携を取り、発症した児童・保護者に対する聴き取り調査を進め、調査の結果、13人の児童に食物アレルギーと思われる症状が確認された。

2 アレルギー様症状発生状況

給食実施校	うち該当食材使用校	発症学校数（児童数）
355校	89校	12校（13人）

※89校以外の学校では、別の業者が製造した「ちくわ」を使用しており、アレルギー様症状の報告はありません。

3 当日の献立

ごはん、牛乳、ちくわのてり煮、大豆の磯煮、すまし汁

4 原因

本市の学校給食用の「ちくわ」は、食物アレルギーの原因になりやすい卵白を使わずに製造することとなっていますが、製造業者が卵白を使用していたことが判明しました。

5 教育委員会の対応

- ・同じ食材を使用した学校については、各家庭で休日中の児童の健康観察をしていただくよう、お知らせしました。
- ・今後、卵白が混入した経緯について調査を進め、関係機関と連携して再発防止策を検討してまいります。

6 製造業者の調査結果

市保健所が、製造者を所管する愛媛県に調査を依頼し、製造者の調査を行った結果、「卵」を使用していない「焼ちくわ」を製造して（財）横浜市学校給食会に納入するはずであったが、「卵白」を使用して「焼ちくわ」を納入していたことが判明しました。

製造者：八水蒲鉾株式会社（愛媛県八幡浜市保内町川之石1-242-4）
